



農業知識広場

農へのこだわり

〜知っててよかった〜

櫻井秀男 指導員



梅雨が明けたら灌水チューブを上手に使って手間を省き、確実な灌水を心がけてください。

『灌水チューブの種類と使用方法』

●灌水チューブとは



灌水チューブの説明をする前に、「灌水」について解説をします。

「灌水」とは一般的に施設栽培などで雨が降らないような栽培方法がされている場合や、露地でも長期間降雨がなく、土壌が乾燥した場合に人為的に作物に水を与えることをいいます。

灌水チューブは、一般家庭で使用されている散水用のホースに、直接小さな穴がたくさん空いていて、そこから水が出るといった状況をイメージしてもらえば分かりやすいかと思えます。

●灌水チューブの使用場面



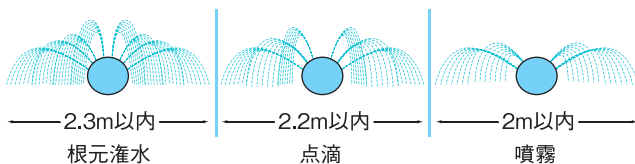
ビニールハウスなど施設栽培で広く使用されていますが、露地でも灌水の省力化や夏の乾燥期には、使用される場合があります。

また、灌水チューブは農業以外の場面でも活躍しています。お気付きの方は少ないかも知れませんが、大きな道路で中央分離帯に植え込みがあるようなところでは、地面に灌水チューブが設置してあり、夏期に日照りが続く場合に夜間散水されるようになっていたりがあります。

●灌水チューブの種類

エバフロー®、キリコ®(三菱樹脂アグリドリーム)は、灌水チューブの中では比

〈エバフローの図〉



較的ポピュラーで多く使用されています。小さな霧状の散水により、土壌を流亡させたり固めたりする心配のない灌水チューブで、噴霧、点滴、根元灌水、ハウス肩灌水などいろいろなタイプがあります。灌水幅は約2メートルで価格は100メートル巻きで、8,000円台です。

スミスアンズイ®(住化農業資材)は、エバフローやキリコと比較してチューブ自体の幅も広く、がっちりとした作りになっています。灌水幅が広く、概ね7〜10メートル幅で灌水することができ、価格はエバフロー、キリコの概ね2倍位になります。

営農のことにに関するアドバイス

営農110番

水稻・野菜・花き・果樹など、農業に関するアドバイスをいたします。

受付：平日 9:00～17:30

- 広島南営農事務所 ☎(082)849-6355
- 広島北営農事務所 ☎(082)841-4919
- 山県営農事務所 ☎(0826)85-0020
- 本店指導販売課 ☎(082)870-5893

※本店指導販売課では土曜日9:00～12:00まで対応

今月の農作業

水稻の早生品種は穂肥の時期です。今月上旬頃に「味穂」を10アール当たり10〜15kg位施用しましょう。(一発肥料を使用された方は不要)

また、中生品種は、中干しの時期です。今月中旬頃土の表面に、軽くヒビ割れが入る程度、田んぼを干してやりましょう。

秋野菜の地ごしらえとして太陽熱消毒をされる場合は、今月が適期となります。くわしくは「安全安心な農作物づくりの手引き」の19ページを参照して下さい。